

グループ討議のご案内

講演会とは異なり、疑問や他大学の事例について直接ご質問いただける場です。有意義な時間となりますので、ぜひご参加ください。

参加申込をいただく際には、討論したい内容や現在ご興味のある内容をご入力ください。

コーディネータが討議進行の参考にさせていただき、グループ毎の参加者名簿（参加メンバーの興味・討論したいことの一覧、当日参加者に配布）に掲載させていただきます。

I 教育と連携

持続可能な社会の実現をめざして、大学が教育機関として果たすべき使命の一つは、なによりもまず、持続可能な社会を構築する担い手を育成することにあります。そしてそのためにいま大学に求められていることは、地域、自治体、市民団体、事業所、NPO等、様々な主体との連携・協力と、それを推進するネットワークの形成です。そこで本グループでは、教員・職員・学生・企業等、それぞれの立場から、以下の5つのキーワード（エコ活動、環境教育、学生参画、人材育成、地域連携）のもとに、様々な実践事例やアイデアが紹介され、自由活発な意見交換が行われます。

エコ活動：清掃活動、自然保護活動、イベント参加、キャンペーン等

環境教育：ESD、PBL、アクティブラーニング、基礎教育と専門教育等

学生参画：学生と教職員の協働、大学のサポート体制、大学間連携等

人材育成：ボランティア、インターンシップ、エコリーダー養成等

地域連携：市民・行政・企業・NPOとの連携、地域活性化、世代間交流等

今回はとくに環境専門教育におけるPBLの必要性、及び海外における環境教育の実践と課題といったユニークな環境教育の取り組みについてのミニ講演を予定しています。さらにそれを踏まえての討議はもちろん参加者の皆様の（分野や部署を問いません）ご関心・ご要望を踏まえた討議内容も検討させていただきます。

Ⅱ 化学物質

本グループは、化学物質の適正管理や安全教育について議論するグループです。全体会では、2つの講演を予定しており、初日は、労働基準監督署の立入検査によって学内の化学物質管理が改善された事例報告、2日目はこれまで当協議会でも取り扱ったことのない毒薬・劇薬の管理をテーマにご講演いただきます。

小グループでは、医療系大学のグループを新たに作り、医療系特有の問題点や課題などを整理し、次回へ繋げたいと思っております。他に、初心者対象のグループや実習を行うグループ、全体会での安全学習用 e-learning コンテンツについて深掘りするグループの計4つの小グループに分かれて研修や討議を行います。

◆全体会◆

◇講演① 「労働基準監督署の立入検査（臨検）をチャンスにする方法」

筑波大学環境安全管理室 教授 中村 修

◇講演② 「大学における毒薬・劇薬の管理について」

大阪医科大学 大学安全対策室 室長
病理学教室 専門教授 岡田仁克

◇e-learning の進捗説明&ディスカッション

私大環協版_化学物質に関連する安全 e-learning 教材について、各コンテンツの概要（案）が決定しました。今回、皆様にその内容をご確認・ご意見をいただきながら、来年春の完成を目標に、各大学で活用できるものを目指していきたいと思っております。

◆小グループ概要◆

①医療系大学における化学物質管理

今回、新たに作られた医療系大学のグループです。このグループでは、

- ・毒薬・劇薬を含む化学物質管理
- ・実験室でのホルマリンや防腐剤のばく露による健康影響
- ・医療系廃棄物の管理取扱い・リサイクル
- ・災害対策 などをテーマに、医療系大学特有の課題の整理と解決に向けて討議を行います。

②保護具（手袋）の取扱い（実験用手袋の透過試験実習）

「あっ、手に薬品が付いた！」

でも手袋を付けていたので安心。そのまま実験を続けよう・・・

・・・はたして、このままで大丈夫なのでしょうか？

皆さん、実験を行うときに何気なく使っている手袋ですが、その特性をつかんでいないと、思いがけないことにつながります。今回は手袋の役割や特性について学んでいきたいと思えます。学生さんへの教育の参考にもなる実習を行います。

※普段使用している手袋（使い捨てタイプでも OK）をお持ちいただければ、それを使って実験を行うことも出来ます。

③安全学習用の e-learning コンテンツ

現在、私大環協でも作成を進めようとしている安全 e-learning プログラムをテーマに取り上げ、求められるコンテンツや効果的な学習方法等について議論します。

④キャンパスの安全安心を確保するための基本（第2回）

このグループは化学物質管理に従事して数年以内の初心者を対象としています。今回は、

- ・前回質問のあった事項について
- ・薬品管理システムの必要性・使用例及び問題点
- ・リスクアセスメントの進め方 他 などをテーマに座学対話形式ですすめていきます。

※前回参加されていない方もご参加できます。その場合は、前回の資料をお渡しいたします。

Ⅲ 施設・設備

このグループでは施設・設備に関する事項について取り上げますが、全体討議と、より多くの方に議論に参加していただくためのサブグループによる討議を設定しました。

全体討議は、官公庁やコーディネータの方に情報提供をしていただき、その内容を踏まえて討議します。

サブグループによる討議は、少人数で討議する事で、より掘り下げた議論が展開することを期待します。グループは以下の2テーマを設定しました。

A エネルギー系：省エネ・創エネ・蓄エネ，CO₂排出量削減などエネルギーに関する事項

B 計画管理運営系：施設設備管理，新增築，リニューアル，マネジメント

それぞれのグループの中で「話題提供」や「グループ内講演」をしていただき、それに基づき議論を進めると共に、参加者からの疑問や問題提起に参加者の皆様が積極的に意見を出す討議としたいと考えます。